

**沖縄・高江にも辺野古にも米軍基地はいらない**

# 子どもたちの 未来まもろう

安倍政権は、沖縄県民の意思をいっさい無視し、新たな米軍基地建設を、暴力的に強行しています。

## 150人の集落に500人超す機動隊を動員 ——高江・米軍ヘリパッド建設を強行

生物多様性の宝庫「やんばる」の森が広がる沖縄県北部で、150人が住む東村高江周辺に6つの米軍ヘリパッド（ヘリや垂直離着陸機オスプレイの発着帯）がつくられようとしています。日本政府は500人もの機動隊員を動員して強行しています。いまも周辺の米軍北部訓練場には15ものヘリパッド

がある中でさらに6つ増えれば、住民は昼夜を問わず爆音にさらされます。現在2つ完成していますが、すでに夜間の騒音は24倍。児童が睡眠不足で学校を休む事態も生まれています。政府は、北部訓練場の半分を返還させるためだと言いますが、そこは遊休区域。無条件返還が当然です。

## 日本の民主主義が問われています ——全国で基地建設作業やめての声を！

沖縄県民ぐるみで反対している名護市辺野古への新米軍基地建設は、翁長知事が前知事の海の埋め立て承認を取り消し、中断に追い込まれています。ところが福岡高裁那覇支部は、「国防・外交は国の専管事項」で自治体は国に従うのが当然という判決を下し、知事の取り消しを違法としました。知事はこれを不服とし、最高裁に上告しています。新基地建設には、県民8割をはじめ、知事も名護市長も、沖縄選出の全ての国会議員も反対しています。民主主義と地方自治をうたった憲法のもとで、民意に従い、建設を中止すべきです。

## それは海外侵攻のための基地 ——全国で中止求める声を！

辺野古に計画される新基地は、海外侵攻のための輸送機オスプレイを緊急時には100機配備し、これを積んで海外に出撃する強襲揚陸艦も接岸できる巨大基地です。高江の発着帯は、オスプレイの訓練のためのもの。戦後70年、米軍基地に苦しんできた沖縄県民が反対するのは当然です。沖縄県民と共に「新基地ノー」「建設の強行やめよ」の声をあげましょう。反対署名にご協力下さい。



**日本平和委員会**

2016年10月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277